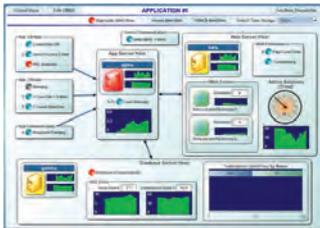




ポイント＆クリックのビルダーで、サービスやオペレーションに応じて、監視ダッシュボードをカスタム構築



アラートのしきい値や生成条件と画面構成も自在にカスタム設定



IoTなど複数現場から集約した監視データを一元可視化



DCIM (データセンター・インフラ管理) : ITインフラを支える物理インフラ層からサービスの状況、サービスに影響する気象などの情報までを一元監視



サービス・レベル画面から、アプリケーション・コンポーネント・レベル詳細にドリルダウン

リアルタイム・データのダイナミックでグラフィックな可視化と監視で、ビジネスやサービスが見える「スマート・モニタリング」を実現

RTViewは、既存のログデータや監視データ、任意のアプリケーションやシステムに接続することで、リアルタイムかつ包括的に可視化し、ビジネスやサービスに関連付けて監視できる「スマート・モニタリング」を容易に実現できます。

コンテンツリッチながらもシンククライアントな「カスタム」監視ダッシュボード画面、インメモリの高速なデータ集約と分析、アラートと対応アクション、ヒストリアン(履歴)などの仕組みを、ポイント＆クリックのビルダーでプログラミングすることなく「カスタム」構成。XML, SQL (JDBC), JMS, JMX, WMI, SNMP, RRD, Splunk, Pipe, Agent, カスタム・データなど、メニュー選択するだけで、ダイレクトに接続できます。そして、ビルダーで対話的にカスタム定義した構成ファイルは、変更することなくデスクトップまたはブラウザ/クラウドで透過的に運用できます。

インフラ監視/アプリケーション性能監視 (APM) から、SOA ミドルウェア監視、サービス/ビジネス・アクティビティ監視 (BAM) まで

RTViewは製造/エネルギー、通信/金融サービス、小売流通をはじめとする広範な分野において、アプリケーション・インフラ監視から、アプリケーション・サーバやメッセージング指向など世界で主要のSOAミドルウェアの監視、サービスやビジネス・アクティビティ監視(BAM)まで、広範に適用されています。

国際貨物輸送サービスのトラッキング、サプライチェーン・システムの監視、オンライン・ストアのグローバルな中央監視、オンライン旅行サイトの予約状況監視など、多くのRTViewユーザー様の事例では、そのビジネスを左右するサービスのアプリケーション・インフラを監視されており、インフラ監視 ⊆ APM ⊆ BSM ⊆ BAM は同じで一つです。

IoT など、複数現場から集約した異種監視データを一元可視化

RTViewでは、データベースや運用管理ツールに集約された、複数のデータセンターや事業所、工場、プラント、ビルなどにおける、さまざまな既存の性能監視データ(*)を容易に一元可視化することができます。

(*)アプリケーション(AP)インフラ、それを支える物理インフラ、APインフラが支えるビジネス/オペレーション/サービス管理におけるさまざまな性能指標と監視データ

たとえば、(生産、電気、ITなどの)設備監視の場合、複数の工場やビルにおける稼働状況を地図上で把握できるサマリー画面から、アラートが出ている特定の工場やビルにドリルダウンし、さらにフロア全体を見るアラート画面から特定の設備詳細へとドリルダウンし、関連するサービス、環境、気象、セキュリティなどの状況とともに確認できる監視ダッシュボードを、RTViewのポイント＆クリックのビルダーを使って、短期間でカスタム構築することができます。

RTViewによるリアルタイムな監視とアラートとは、「今、この瞬間にオペレーションやシステム全体で何が起きているか」を可視化し、ビジネスやサービスに影響を及ぼす前にアラートして、未然に防ぐ対策を可能にするもの … Right Now! and Not Later

- ★ **最もリアルタイム** ● 監視制御を専門としてきた技術による最小のフットプリント、リアルタイム・データに「直接」接続、インメモリ・キャッシュでデータを集約して高速に表示
- ★ **何にでもすぐにつながる** ● RTViewの各種データ・アダプタで任意のデータへすぐに接続、いかなる企業独自の特殊なデータもカスタム・アダプタ(API)で取込み可能
- ★ **最もカスタマイズ可能** ● 画面と部品、データの集約と表示(フィルタリングとカスタム関数)、アラートと対応アクション(カスタム・コマンド)、任意DBへの永続化(ヒストリアン)など、すべてビルダーで完全にカスタマイズ可能
 - 機能が豊富ながらもポイント＆クリックで簡単操作のRTViewビルダーで、データに接続して対話的に作成
 - 職務役割別、影響度別、階層的な監視画面(サマリー画面から詳細画面へのドリルダウン)をカスタム構築
 - サービスやオペレーションに関連付けた高度なアラート管理機能
 - しきい値などのカスタム・ルールとカスタム対応アクションの自動化
 - RTViewサーバ機能による高性能な運用とスケラビリティ



RTViewディスプレイ・サーバによるシンククライアント機能によって、iPhoneに表示される高対話性の監視画面



1983年に設立されたSL(Sherrill-Lubinski)社は、リアルタイム・データの可視化と監視の専門メーカーです。プロセス制御、通信ネットワーク管理、設備監視/ビル管理、交通管制、宇宙・防衛など、世界のミッション・クリティカルな監視制御システムで稼働しており、常に最先端の技術で業界をリードしてきました。その専門技術をエンタープライズITに展開したのがRTView(リアルタイム・ビュー)で、同社の比類なくコンパクトで高速なJavaグラフィックス技術をベースにしています。

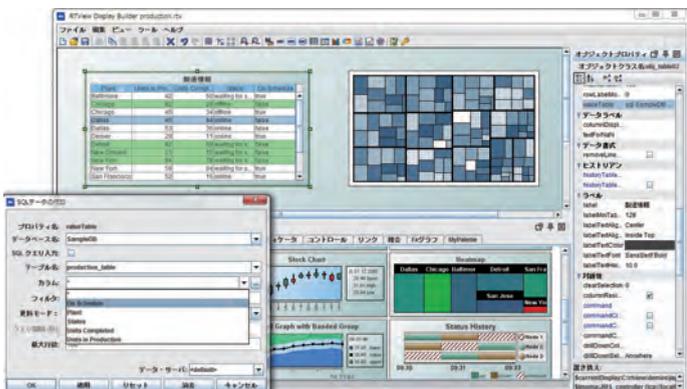
ビルダー：ポイント&クリックで監視ダッシュボードをカスタム構成、必要なデータに接続してプレビュー

RTViewのビルダーでは、個々のユーザや用途向けにカスタマイズした監視ダッシュボードを簡単に構成できます。ポイント&クリック操作でオブジェクト・パレットを使い、100種類以上の広範なダイナミック・グラフィック・オブジェクト（テーブル、グラフ、データ入力、スケール、リンク、メータ、ゲージ、マップなど）から選べます。そして、選択したオブジェクトをビルダーの作業領域にドロップすると、そのプロパティ・ダイアログが現れ、形式や色、動的振る舞い、しきい値、実行コマンドなど、さまざまな属性を指定できます。さらに、ビルダーの「データ付加」メニューで接続するデータを選択するだけで、オブジェクトがすぐに動き出します。

RTViewでは、ダッシュボード画面と部品はさることながら、画面上にどのようにデータを集約して表示するか、アラートと対応アクション、任意のデータベースへの永続化（ヒストリアン）はすべてビルダーでカスタマイズ可能で、さらにSL-GMS Java 開発ツールで作成した独自のグラフィック部品を簡単にビルダーにインポートすることも可能です。さらに、ビルダーで対話的にカスタム定義した「構成ファイル」は、変更することなくデスクトップまたはブラウザで透過的に運用できます。

機能が豊富ながらも、簡単操作のRTViewビルダー

- データの集約と表示（フィルタリング・計算）ならびに簡単なルール（しきい値や対応アクション）を実行できる、多数の関数（ならびにカスタム関数）とコマンド（ならびにカスタム・コマンド）をダイアログで設定
- 100種類以上のオブジェクトの豊富な属性とさまざまなデータ付加（接続）をダイアログで設定
- ツリー/タブ選択、ドリルダウン、フィルタリング、スムーズなズーム/パン、HTML、リンク、タブ付きペイント（区画）、任意のオブジェクト上のマウスオーバーでテキスト・データ表示、アコーディオン（展開）など、直観的かつ多角的にデータを閲覧できる高度な画面ナビゲーション（遷移）とデータの相互関連付け
- その他、アラート、ヒストリアン（履歴化）、レポート（PDF）、キャッシュ、サーバ機能、ロールベース・セキュリティの設定ダイアログ など



ポイント&クリック操作のビルダーでパレットを使って、多種多様のダイナミック・グラフィック・オブジェクトから選択。シンプルな「プロパティ・ダイアログ」を使い、プログラミングすることなくオブジェクトのさまざまな形状や動的属性を設定し、「データ付加」ダイアログでデータに接続。

アラートとヒストリアン：すぐに使える豊富な監視機能

RTViewでは、ビルダーのアラート設定ダイアログで、しきい値や生成条件などを対話的にカスタム設定し、アラート画面はテーブル、グラフ、メータ、独自の部品などで、自在にカスタム構成することが可能です。また、時刻/曜日/日付ベースで特定のアラートの有効/無効をスケジュールリングできる他、メール送信、外部/カスタム・コマンド実行、SQL文の実行、JMSメッセージ送信、SNMPトラップによる通知、指定画面へのドリルダウンなどの自動アクションが設定可能です。

また、RTViewではSQLアダプタを使って任意のJDBCデータベースに、リアルタイム・データを履歴として格納（永続化）することができ、ユーザ定義によるテーブルの自動生成なども可能です。さらに、大量のデータをインメモリ・キャッシュと物理的なデータベースの間で透過的に圧縮・展開してエイジング管理、タイム・スタンプでそのときの監視画面をいつでもプレイバックして見られる高度な「ヒストリアン機能」を提供しています。その他、画面のPDF化、ExcelシートやHTML形式へのデータ・エクスポートによる、記録とレポート配信が可能です。

ビューワー：迅速で柔軟な運用選択肢が、速やかなROIを可能に

ビルダーで作成した監視ダッシュボードは、変更することなくすぐに複数の選択肢で透過的に運用できます。特別なサーバ・ソフトウェアや複雑なプラットフォーム・アーキテクチャは必要ありません。また、RTViewのロールベース（職務役割別）セキュリティを使用、または既存のLDAPやデータベース・セキュリティを統合した運用が可能で、誰がどのデータを閲覧でき、どの応答アクションを実行できるかを、ビルダーで定義できます。

- RTViewの「ディスプレイ・サーバ」による、対話性の高いシンクライアント（HTML5, Ajax）運用
- デスクトップ Java アプリケーションまたは Java パネル運用
- Java Web Start アプリケーション運用

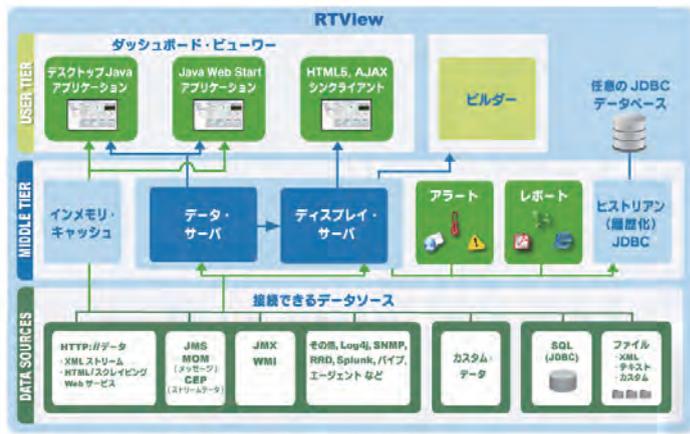
複数のデータソース：特定のシステムやアプリケーションに制限なく

RTViewでは、特定のアプリケーションやシステムに限定されることなく、ニーズに応じた複数のデータソースにアクセスできます。SQL (JDBC 対応) データ・アダプタをはじめ、予め用意している各種の標準的なアダプタでデータを取ることがほとんどですが、さらにはいかなる独自の特殊なデータも、RTViewの「カスタム・アダプタ (API)」でビルダーに取り込み、簡単に接続できるようになっています。さらに、SQL (JDBC 対応) 接続ではクエリのスケジュールによる実行など、それぞれのデータ・アダプタでは豊富な機能をサポートしています。

そして、これらのリアルタイム・データは高速にアクセスできるように、RTViewのインメモリ・キャッシュに集約されます。ジョインやフィルタリングによる生データの変換、相互関連付け、アラート、しきい値などのルールと対応処理は、すべてポイント&クリックのビルダーでカスタム定義して管理できます。

データ接続アダプタ(例)： SQL (JDBC), XML, JMS, JMX, WMI, SNMP, Pipe, Agent, RRD, Log4j, Splunk, …, カスタム・アダプタ

接続先(例)： データベース, アプリケーション・サーバ, メッセージ指向ミドルウェア (MOM), CEP (ストリーム処理) エンジン, ログファイル, 監視ツール, 運用管理ツール, …, 独自の特殊データ



RTViewのサーバ機能：スケーラビリティ、セキュリティ、パフォーマンスを提供

RTViewのサーバ機能によって、一つのアプリケーションの性能監視から大規模なグローバル・システムまでのスケーラビリティを提供し、運用されており、監視データ量やユーザ数が増加しても、スケーラブルに対応できます。

RTViewでは、データソースを「データ・サーバ」にリダイレクトし、ユーザは個々のデータソースの代わりにデータ・サーバに接続することで、パフォーマンスの最適化が可能になります。また、データ・サーバはHTTPリクエストを受信できるシングル・アクセス・ポイントを提供するため、システム・セキュリティを維持したまま、ファイアウォールを通過して情報を渡すことが可能になります。さらに、複数のデータ・サーバを地域や事業所別に設置し、データの収集と格納を一ヶ所に集中させることなく分散できます。

また、RTViewの「ディスプレイ・サーバ」によるシンクライアント機能で、仮想環境やクラウドなどで運用する監視ダッシュボードを分散したブラウザ・クライアントへ高速に配信できます。全社やグローバル展開では、シンクライアント運用でフィールドからマネジメントまで、社内専用のスマートフォンやタブレットからもアクセスできます。